

コロナウイルスに立ち向かい核兵器のない公正な世界を

岩出市内を走る平和行進宣伝カー



5月13日（水） 国民平和行進宣伝カーは 岩出市を午後6時過ぎに走りました。



岩出市庁舎前・増田浩二議員から送り出し挨拶

岩出市長のペナントを受け取ります



5月13日（水）快晴です、黄砂で少し霞んでいます。平和行進宣伝カーは、岩出市に入りました。

那賀原水協の松田さんと覺道さんと地元の代表、県原水協事務局の5人で、岩出市総務課を訪問しました。市長からのペナントと協賛金を柏木総務課部長より受け取りました。また、今年は「被爆者募金箱」の設置のお願いをし設置の了解いただきました。市議会事務局にもお寄りし、議長に「ヒバクシャ国際署名」の役職署名をお預けしました。「被爆者募金箱」も置いて頂く事になりました。

宣伝カー出発時、増田浩二岩出市議員から「岩出市も『原爆写真展』を取り組んでいます。非核行政のさらになる取り組みをがんばります」と送り出しの挨拶。平和行進宣伝カーが市庁舎前から出発しました。市庁舎前から従来の平和行進コースを通り「♪ 今年には広島、長崎に原子爆弾が投下されてから75年です。被爆者のみなさんは、原爆症の恐怖と、今は新型コロナウイルスの恐怖とも闘いながら、ヒロシマ・ナガサキを繰り返すな、核兵器のない世界をと訴え続けています。被爆者の願い、地球市民の願いである「核兵器禁止条約」の早期発効、核兵器のない平和な世界をつよく求めましょう。」と訴えるアナウンスを繰り返して岩出市を走りました。

明日は、海南市を宣伝カーが走ります。

県原水協事務局